

## 世界自閉症啓発デー 2026 に向けた文部科学大臣メッセージ

毎年4月2日は、国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。また、我が国では、毎年4月2日から8日までの期間を「発達障害啓発週間」とし、自閉症など発達障害に関する正しい理解が進むよう、啓発活動に広く取り組んでおります。

「世界自閉症啓発デー」は今年で19回目を迎えます。今年のキャッチコピー「ちがいはちから、つながりは未来」の下、今年も「世界自閉症啓発デー」のシンボルカラーである青を基調としたライトアップ等が全国各地で実施されます。

文部科学省では、障害のある子供一人一人の自立と社会参加を見据え、個々の教育的ニーズに応じた指導を提供できるよう、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場の整備を進めるとともに、いずれの場合においても、障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に学ぶことができるよう、特別支援教育を推進しております。

また、現在、中央教育審議会においては、次期学習指導要領に向けた検討が行われており、自閉症など発達障害のある子供を含め、通常の学級における障害のある子供への重層的な指導・支援の在り方や、通級による指導の充実にに向けた方策等についても、重要な論点としてご議論をいただいているところです。

さらに、教育と福祉が連携し、行政分野を超えた切れ目のない一貫した支援を行っていくため、引き続き厚生労働省・こども家庭庁とも連携を密にしながら、誰もがその能力を発揮し、相互に人格と個性を尊重し支え合い、認め合える共生社会の形成を目指し、特別支援教育の一層の充実に図ってまいります。

結びに、「世界自閉症啓発デー」や「発達障害啓発週間」が、教育関係者にとって発達障害についての理解を深め、支援の充実につながる契機となることを期待するとともに、引き続きの御理解と御協力をお願い申し上げて、私からのメッセージといたします。

令和8年4月2日  
文部科学大臣 松本 洋平